



回折光学素子の設計と解析

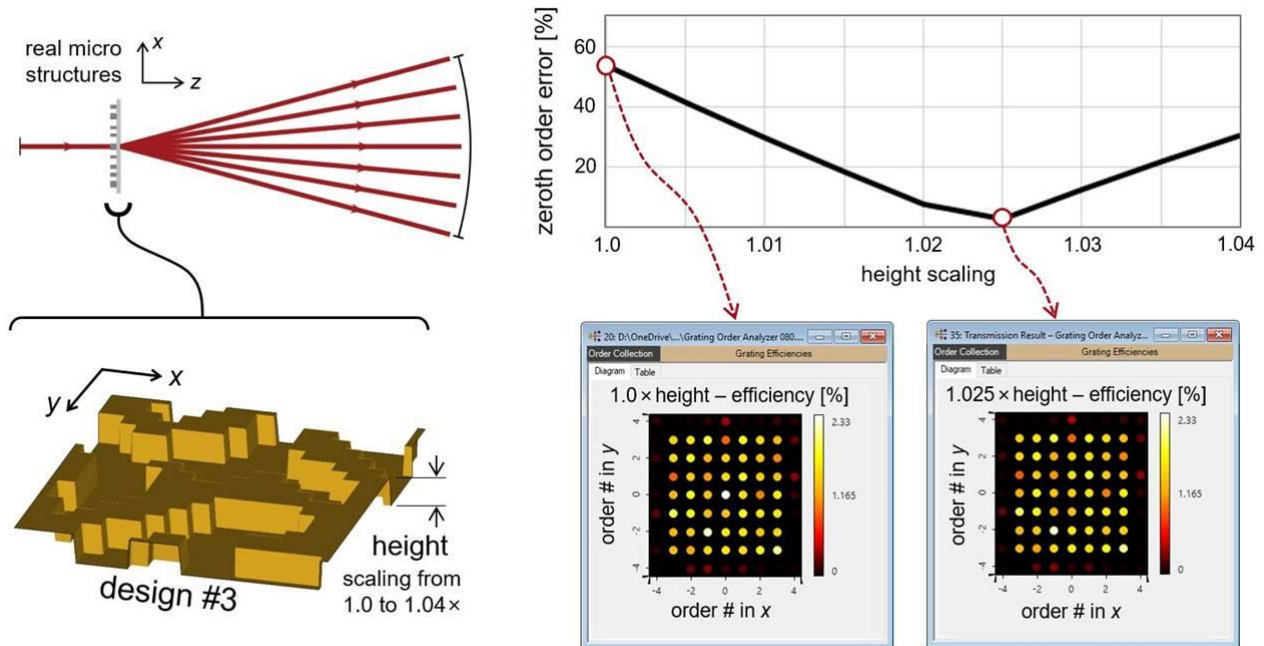
近軸近似を超えて機能する回折光学素子には、しばしば光の波長に比べて比較的小さな形状を伴うことがあります。この理由からこうした解析には厳密なモデリングが必要となります。

VirtualLab では近軸条件下で thin element approximation を用いて非近軸の回折光学素子の設計をすることができます。VirtualLab のフーリエモーダル法 (FMM) と回折次数アナライザー (Grating Order Analyzer) があれば、近軸設計の実際の性能を厳密に評価することが可能です。

非近軸回折ビームスプリッターの設計と解析

非近軸回折ビームスプリッターの厳密な評価にフーリエモーダル法が適用されています。非近軸回折ビームスプリッターは、最初に、反復フーリエ変換アルゴリズムと thin element approximation を用いて設計しています。

[詳しくはこちら](#)

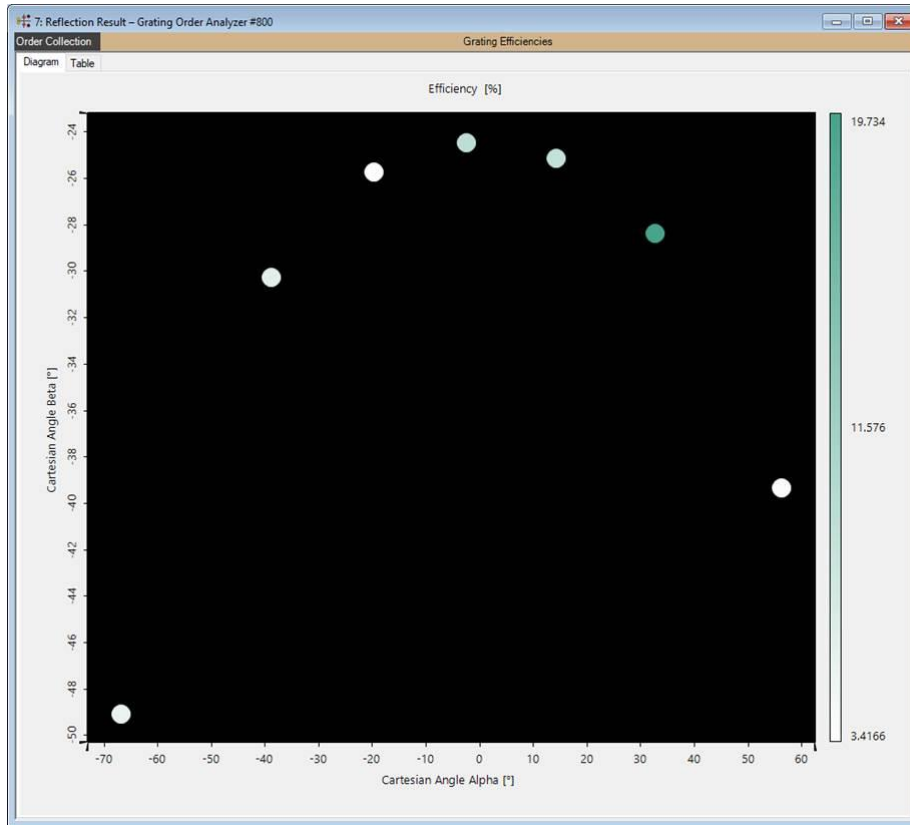


非近軸回折ビームスプリッターの設計と解析

回折次数アナライザー (Grating Order Analyzer)

回折格子の回折次数の解析は回折格子に関わる典型的な課題の一つです。VirtualLabでは回折次数アナライザー (Grating Order Analyzer) を用いて行い、回折効率、様々な手法で異なる次数のレイリー係数を表示することができます。

[詳しくはこちら](#)



回折次数アナライザ

☆無償トライアル版、トレーニングのお問い合わせは下記までお知らせください

株式会社プロリンクス

営業部 VirtualLab 担当

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町 17 番地 SIA 神田スクエア 3 階

Tel: 03-5256-2053 / Fax: 03-5256-2272

Email: virtuallab@prolinx.co.jp

URL: <https://www.prolinx.co.jp/virtuallab/>

